

令和2年度 OB医師によるキャリア講話

- 1 日時 令和2年11月28日(土) 15:00~16:30
- 2 会場 会議室
- 3 講師 常陸大宮済生会病院 市毛博之先生 (平成18年本校卒)
- 4 参加生徒 1年生医学科進学希望者
- 5 内容

1年生の医学科志望者を対象に、常陸大宮済生会病院の内科に勤務する市毛博之先生によるキャリア講話を行いました。市毛先生は、本校を平成18年に卒業されたOBであり、水戸一高時代の思い出などを交えながら、現在勤務している常陸大宮済生会病院での仕事の様子や茨城県の地域医療の現状、チーム医療などについて説明して頂きました。

講話の後半では、グループに分かれ、伝染性単核球症 IM の患者さんを診断するというグループワークを行いました。発熱症状やのどが腫れるといった症状から病名を見つけるためには、医学に関する知識はもちろんのこと、観察力やコミュニケーション力、決断力など、様々な能力が必要とされることをよく理解することができました。参加した生徒からはとても良かったという感想と共に、医師を目指す意欲がわきましたといった声を多数聞くことができました。講話の最後の質疑応答でも生徒たちから多くの質問が出て、活発な意見交換をすることができました。



今回の講話に参加した生徒たちの感想文より

・私は地域医療に興味を持っており、今回、地域医療に携わる市毛先生の話は大変興味深く、多くのことを学ばせてもらいました。印象に残ったことの一つは、患者さんを診察する際には、その病状を含めて患者さんの全てを理解することが大切という話です。地域によって文化や産業などが全く違い、そうした生活環境も含めて知ることで患者さんの気持ちに寄り添うことができるという先生の話はとても共感でき、患者さんとの接し方も含めた深い話が色々と聞けて大変勉強になりました。ありがとうございました。

・IM という病気の診断を例に基本的な診察の仕方や患者さんとの接し方について理解することができ、大変勉強になりました。グループ活動では、自分が思いつかないような視点で考える友達との協同作業を通して、チーム医療の一端を理解できたような気がします。仲間と協力して物事を進めていくと何倍ものアイデアを創造することができると改めて感じることができました。

